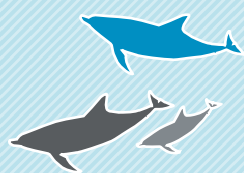


## 智島列島で確認されているイルカたち Part2

イルカ通信No. 91でも一部ご紹介した智島列島で確認されているイルカたち。遭遇が多い個体は他にもいるため、今号でも、引き続き5個体のイルカをご紹介したいと思います。観察歴の長いものから最近識別され始めた個体まで、それぞれ特徴を覚えてみてください！



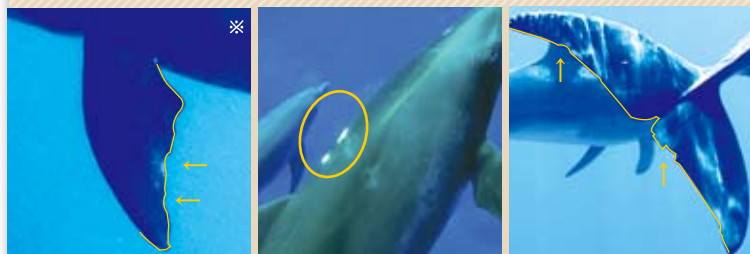
#166

### 《#76

ニックネーム

テンテン…メス：観察歴2002年～

父島列島と智島列島の両方で計13回確認しているが、ここ最近では智島列島での遭遇の方が多い傾向にある。背中（背ビレより前側）に白い斑が2つあることから「テンテン」と呼ばれている。尾ビレや胸ビレも特徴的。出産経験もある。

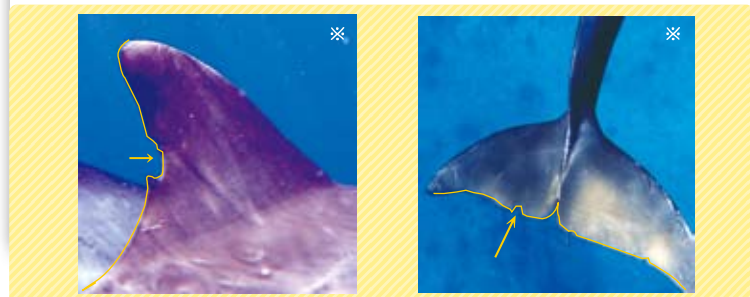


### 《#166

ニックネーム

嫁フック…メス：観察歴2005年～

これまで智島列島のみで16回遭遇。船の上からでもよくわかる、大きな切れ込みの入った背ビレが識別ポイント。2016年にはじめて子連れている姿を観察した。今年7月の調査でも子供を連れているのを確認している。

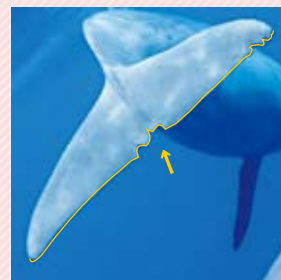


### 《#194

ニックネーム

イワ…メス：観察歴2006年～

遭遇記録14回のうち、智島列島での遭遇が13回とほぼ智島列島周辺で確認されている。右胸ビレの付け根付近に逆「Y」字の模様があるのが大きな特徴。母親（#171）も智島列島のみで確認されていたが、2010年以降出会えていない。



### 《#284

オス：観察歴2013年～

ここ数年で識別され始めた個体で、智島列島のみで5回の遭遇がある。尾ビレの付け根付近に凹みがあるのが特徴。ただし、他にも似た特徴をもつ個体がいるので、背ビレや尾ビレの切れ込みも要チェック！



### 《#303

メス：観察歴2015年～

こちらも最近識別され始めた個体で、これまでの遭遇回数は5回。どれも智島列島での記録である。目立った特徴はないが、尾ビレと背ビレの切れ込み、左胸ビレ付け根の白斑で識別できる。出産経験があるメスの個体。



写真提供：★岡本亮介 / ※打込みゆき